

1. 環境経営方針

[基本理念]

株式会社シントーは、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つである事を認識し、企業のあらゆる面で地球環境の保全に配慮して行動し、それと共に住みよい地域の発展に貢献することとして、基本方針を定める。

〈社是〉 良い品を安く造る

〈社訓〉 一、互に敬愛し信頼と善意とを以て社内生活を明朗にする

一、強い責任感を以て職分を遂行する

一、技術の向上習熟と創意工夫とを重んずる

一、質素を旨とし節度と礼儀とを重んじ心身を健全にする

[基本方針]

プラスチック製品の製造に関わる全ての生産又は消費活動とこれらの製品及びサービスの環境影響を低減するために、環境関連法令並びに、同意したその他の要求事項を遵守し、環境経営システムにより下記の項目について継続的な改善を進めます。

イ) 地球温暖化抑制運動の推進に努めます。

ロ) 事業設備からの機械作動油及び、プラスチック原材料の漏洩防止に努めます。

ハ) 廃棄物の分別適正処理を行うと共に、廃棄物処理の削減に努めます。

ニ) 事業設備及び、事務所に係わる天然資源（電気エネルギー・自動車燃料・上下水道・ガス）等の使用量削減に努めます。

ホ) グリーン購入を積極的に推進します。

3.全従業員に環境方針並びに地球環境の大切さを教育し、意識の高揚及び保全活動を推進するため全ての組織、従業員が活動できる環境管理組織を整備します。

4.社内の連携を密に、海外メーカーに負けない効率的で高品質な「ものづくり」を心がけ、生産工程から発生する環境負荷の低減に取り組むと共に恒久的な環境に配慮した経営を推進します。

5.環境経営方針及び環境経営活動レポートは社外の求めに応じて開示します。

制定日:2019年10月01日

株式会社 シントー

代表取締役

横 清 勲

2. 対象範囲

認証登録範囲は本社及び山形工場の全ての活動
(活動期間 2020年4月1日～2021年3月31日)

3. 組織の概要

■事業者名及び代表者名

株式会社シントー 代表取締役社長 横瀧 勉

■所在地

本社 千葉県松戸市南花島1丁目4-3-301 TEL: 047-375-8183 FAX: 047-375-8184 URL: <http://www.sintoh.co.jp>
 山形工場 山形県新庄市福田字福田山711-54 TEL: 0233-22-6557 FAX: 0233-22-9559
 宮城営業所 宮城県亶理郡亶理町大字新町59-6 TEL: 0233-35-7910 FAX: 0233-35-7911
 (2022年度認証取得予定)

■環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境推進責任者 高橋 新一 事務局担当者 佐藤 美紀 (山形工場)

■事業の内容

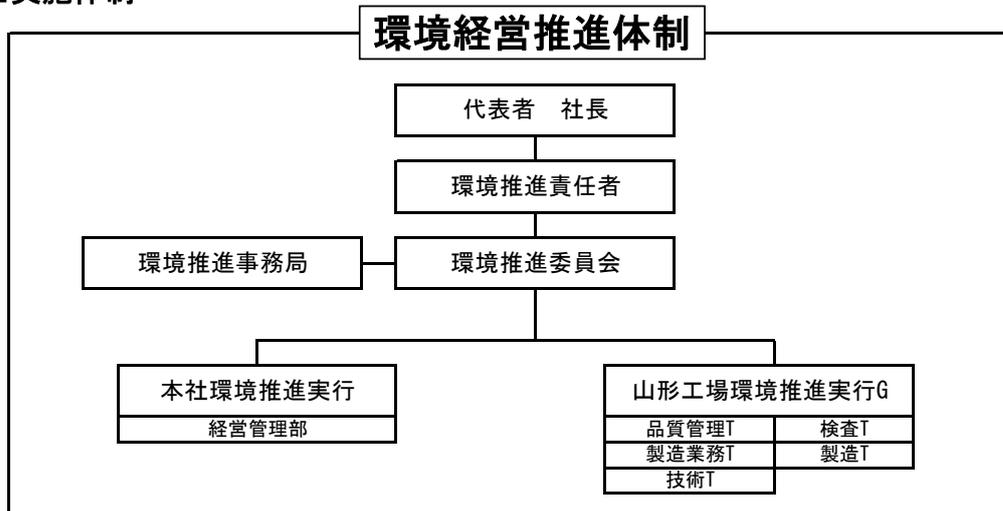
本社 山形工場 : プラスチック製品の製造 (射出成形及び組付け)

■事業の規模	2020年度 活動規模	単位	2020年度		
			本社	山形工場	宮城営業所
	生産量	t	—	69	—
	出荷額	百万円	—	292.6	—
	従業員	人	2	24	4
	床面積	m ²	49.47	2,301.28	235.37

■沿革

- 1931年 8月 東工舎創立
- 1989年 5月 山形県新庄市に敷地18,327㎡ (5,553坪) を取得 (現: 山形工場)
- 1995年 12月 (株)東工舎 (現: 東京工場) と(株)シントー (現: 山形工場) が合併して(株)シントーとなる
- 2000年 11月 株式会社リコー、環境マネジメントシステム登録工場取得
- 2006年 11月 エコアクション21環境マネジメントシステム認証取得 (山形工場)
- 2007年 9月 エコアクション21環境マネジメントシステム認証取得 (東京工場)
- 2008年 8月 ISO9001品質マネジメントシステム認証取得 (東京・山形工場)
- 2009年 9月 エコアクション21環境マネジメントシステム、東京工場、山形工場認証統合登録番号: 0000963
- 2011年 11月 ISO9001: 2008認証更新 審査登録証 Q1295
- 2017年 12月 ISO9001: 2015認証更新 審査登録証 QMJ: 0021
- 2018年 1月 本社を足立区に移転、生産拠点を山形工場に移設
- 2019年 11月 宮城営業所(宮城県岩沼市)を開設
- 2020年 10月 本社を千葉県松戸市に移転
- 2021年 2月 宮城営業所を宮城県亶理町に移転

■実施体制



4. 環境関連法規制への違反・訴訟等の有無

(株) シントーでの事業活動にかかわる、全ての関連法規を抽出、整理し、取りまとめています。

主な関連法規	対象物	主な関連法規	対象物
騒音規制法・振動規制法	射出成形機・コンプレッサー・粉碎機	電気事業法	自家用電気設備
廃棄物処理法	廃プラ・廃油・水銀使用製品	PCB廃棄物特別措置法	コンデンサー、トランス
消防法	消防用設備	フロン排出抑制法	第一種特定製品(業務用エアコン)
大気汚染防止法	小型ボイラー	省エネ法	電気・重油・灯油・ガソリン等
浄化槽の管理	浄化槽	火災予防条例	危険物(重油・機械作動油・灯油等)
家電リサイクル法	廃棄する家電4品		

※国・都・県・区・市関係の法規制等(改正)については、常に入手できるように1年毎に関係機関(都、区、監署、工業部会)のホームページへアクセスして対応しています。

※遵守状況は6月に確認、遵守されています。

公害防止関連の規制、廃棄物リサイクルに関する規制、消防等の

規制違反について、関係機関から過去5年間に指摘は無く、訴訟等もありません。

5. その他の活動 【山形】

- ① 工業団地内清掃活動
- ② 工場内除草作業(除草剤・草刈り機使用)
- ③ 次世代育成活動の一環として、近隣学生の工場見学実習受入
- ④ 5S活動(社員全員で終業時刻20分前から毎日清掃活動)

6. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組内容

・環境経営目標(単年度・中長期)

環境経営目標項目	単年度目標	中長期目標(3年)	
	2020年度目標 (2020.4~2021.3)	2018年度基準年	2019年4月~2022年3月 (3年)
1 電力使用量の削減	2018年同期比2%削減	2021年度までに2018年度実績値の3%削減を目指す	
2 廃棄物排出量の削減	2019年同期比1%削減	2021年度までに2019年度実績値の2%削減を目指す	
	※2019年度基準年・・・2018年度の排出量の内訳と相違が発生した為。		
3 水道使用量の削減	2018年同期比2%削減	2021年度までに2018年度実績値の3%削減を目指す	
4 CO2排出量の削減	2018年同期比2%削減	2021年度までに2018年度実績値の3%削減を目指す	
5 生産性向上活動(客先クレーム件数低減の達成)	2018年同期比2%増加	2021年度までに2018年度実績値の3%増加を目指す	
6 グリーン購入推進	現状把握	グリーンマーク商品を優先的に購入する	

<山形工場>

《評価基準》受注量に変動があり、それに伴い機械稼働率も変動する為、売上高当たり(売上百万円あたりの使用量・排出量)で換算し結果を評価した。(下段表示)

項目	単位	2018年度	2019年度	2020年度
売上高	百万円	381.92	491.30	292.60

No	取組項目(年間)	単位 評価基準	2018年度	2019年度	2020年度	2020年度	増・削減率	評価	2021年度	
			実績値	実績値	目標値 (2%減)	実績値			目標値 (3%減)	
1	電力使用量	全社	kwh	748,657	674,972	733,684	563,470	-25%	○	726,197
		山形	kwh	740,746	668,577	725,931	560,826	-24%	○	718,524
			kwh/百万円	1,940	1,595	1,901	1,917	-1%	×	1,882
		本社	kwh	7,911	6,395	7,753	2,644	-67%	○	7,674
2	廃棄物排出量 (単純焼却 最終処分量)	全社	Kg	14,690	18,970	(1%減) 18,780	20,310	7%	×	(2%減) 18,591
		山形	Kg	14,690	18,970	18,780	20,310	7%	×	18,591
			kg/百万円	38.46	45.24	44.79	69.41	53%	×	44
		※2019年度基準年 本社	Kg	-	-	-	-	-	-	-
3	上水道使用量	全社	m3	724	620	710	461	-36%	○	702
		山形	m3	687	593	673	446	-35%	○	666
			m3/百万円	1.80	1.41	1.76	1.52	-16%	○	1.75
		本社	m3	37	27	36	15	-59%	○	36
4	CO2排出量	全社	Kg-co2	413,935	379,150	405,656	323,217	-22%	○	401,517
		山形	Kg-co2	392,577	358,654	384,725	318,168	-19%	○	380,800
			Kg-co2/百万円	1,028	855	1,007	1,087	6%	×	997
		本社	Kg-co2	21,358	20,496	20,931	5,049	-76%	○	20,717
5	品質改善活動(客先クレーム件数低減)の達成	山形	0件以下達成月	95.8%	70.0%	(2%増加) 97.8%	100.0%	4.4%	○	(3%増加) 98.8%
6	グリーン購入	山形 本社	積極的にグリーン購入の推進を行う。対象品目が多岐にわたるため、実績値は出さず現状把握する。							

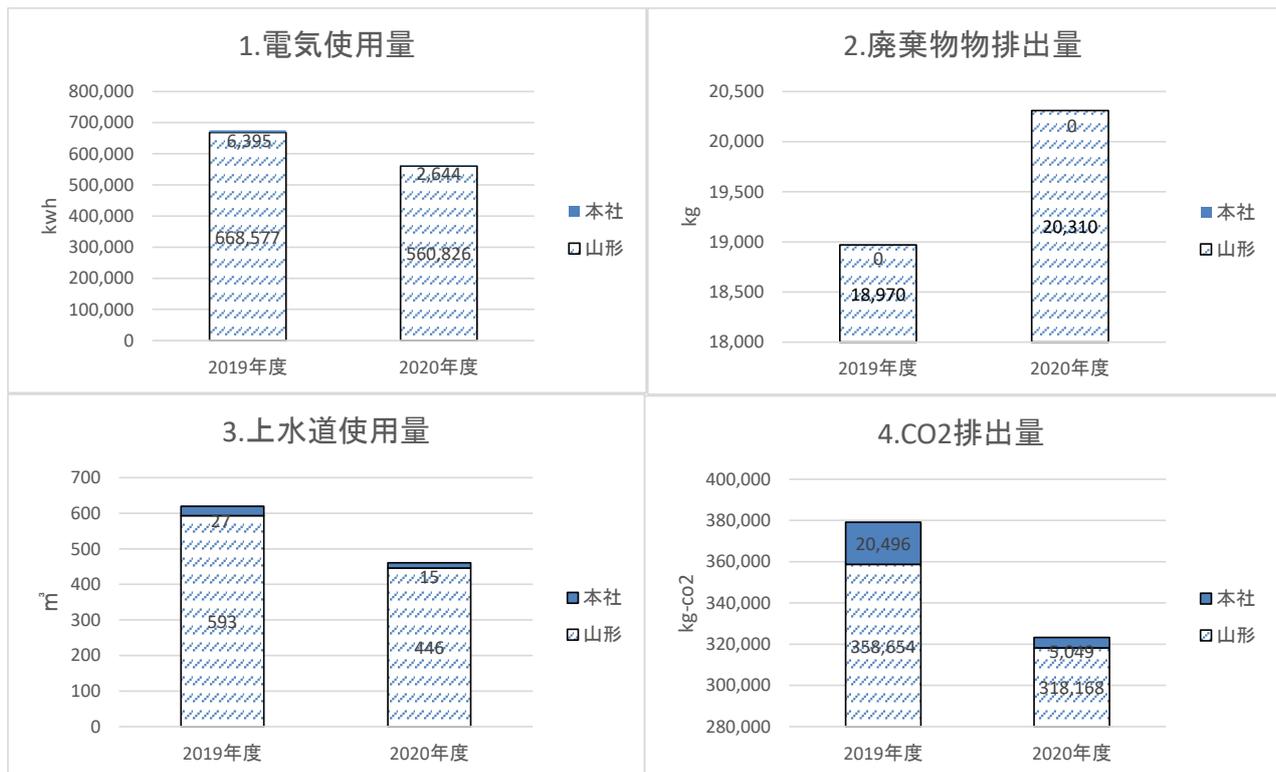
※二酸化炭素排出量は、電力、ガス、ガソリン、軽油の合計とし、H30(2018年)12.27公表の排出係数を使用。

本 社 : 東京電力排出係数0.462kg-co2/kwhを使用

山形工場 : 東北電力排出係数0.523kg-co2/kwhを使用

下段(売上百万円あたり使用量)

※化学物質は使用していない。



7. 環境経営計画に基づき実施した取組結果評価及び次年度への取組課題

○：十分に取組んだ

×：取組不十分

△：一部取り組めていない

No	環境経営計画	環境活動項目	取組結果と評価	評価	次年度への取組課題
1	電力使用量の削減	自社、省エネキールールの遵守	不使用電気機器の電源OFF休憩時の消灯実施。休憩時、一部消灯されていない箇所を発見。周知徹底を図った。	○	継続して省エネキールを実施する。朝礼・ミーティング等を利用して節電の徹底を周知していく。
		成形機の効率的稼働	朝の機械への熱の入れ方をずらして、朝時点のデマンド最大値を減らしている。	○	省エネ診断を兼ね、更新時に変更した新機種種のデマンドの設定値やスマートロックの有効的な活用方法等の指導を予定にする。
		デマンド管理システムによる監視・低減	デマンド設定値を数か月変更していなかった。工場でのスマートロックの活用が不十分だった。	×	対策として、デマンド設定値を記載するチェック表を用意し、設定値を変える際の目安にする。
		設備の見直し	工場内の水銀灯交換時に合わせ、手元照度を確保しつつ、2ヶ所をLEDに切り替えた。	○	照明器具交換時に、LEDに変更。定期点検で早めに修理に繋げ故障破損を防ぐ。
2	廃棄物排出量の削減	廃棄物の分別・処理の徹底	空き時間内の工場内整理整頓から分別処理が進んだ。重りで廃棄物を圧縮した為、一度の回収でより多く廃棄出来るようになり、料金節約に努めた。	○	現在の産廃業者であるクレーンテックスの産廃引取りが一時休止になる為、代替業者を探し、尚且つ廃棄物の分別・処理を引き続き徹底するよう努めていく。
		紙類の再使用化及び排出低減	裏紙利用・メールの活用を進めている。昨年度よりコピー用紙の購入量は10kg程減少した。	○	裏紙利用・データメール送付を活用し低減に取り組む。デマンドの継続使用を見極め分別を守りリサイクル率向上を目指す。
		不良品低減による廃プラ排出削減	以前は不良品をリサイクルしていたが、依頼しているリサイクル業者がコロナの影響から縮小体制になり、材料の種類・グレード別、更に粉砕機にかけた物しか回収しないということになり、不良品全てが単純焼却になった為廃棄量増加。	×	金型や成形機の不具合で不良が発生した場合、修理・修繕して不良を抑えることも考えられるが経費削減の観点から後仕上げ時や成形段階で不良を如何に出さないか検討していく。
3	水道使用量の削減	節水全般	より目に留まりやすい箇所への新ポスター掲示による節水の呼びかけ。パトロールでの見回りを実施した。音姫利用。	○	流しっぱなしの防止、節水ステッカー、掲示物等の継続で節水を喚起。掲示していない箇所へのポスターの掲示の徹底。
		設備の漏水点検	推進委員社内パトロール時の早期発見、修理を実施。	○	定期点検、社内パトロールでの早期発見、修理。
		水道使用量の管理 設備の見直し	大きな故障等無く削減できた。毎日のメーターチェックにより使用量を計測し、前日との増加量と比べ異常への早めの対応に繋がった。	○	1回/日の水道メーターチェックで前日との対比、異常の早期発見につなげる。
4	CO2排出量の削減	電気、廃棄物、水道の削減計画を確実に実行。	省エネキールに基づき活動を実施し電気・水道は削減出来たが、廃棄物は削減目標を達成出来なかった。	△	電力、廃棄物、水道使用量の取り組みを実施してCO2の削減につなげる。
		ガソリン使用量の削減 エコドライブの推奨	テレ会議を多く活用したが、車による営業先への訪問や社員の拠点間の定期的な移動が有りガソリン使用量増加。移動の際は乗り合いするよう心掛けている。	×	テレ会議の活用、拠点間の移動の際の乗り合いの継続をしていく。 エコドライブの推奨（掲示物、冊子配布等）
5	生産性向上推進活動	ISO（QMS改善活動）客先クレーム（ロットアウト・ラインクレーム）件数削減活動実施	5S活動をQMS活動の具体的な活動の一環として捉えた事により、考え方や行動の質が変わり結果に繋がった。	○	ロットアウト、ラインクレームは目標達成出来ていた。今後も目標達成出来るよう引き続き努めていく。
6	グリーン購入	事務用品、備品等CO2対象品を優先的に購入する。	備品・事務用品を中心に購入時に優先してグリーン商品を購入している。	○	事務消耗品、日用品に限らず、購入都度エコマーク等のグリーン商品を確認、検討、可能な限り転換する。

※ A重油タンク設備の維持・・・緊急時の使用を想定し、設備維持・保全の為、メンテナンスを業者に依頼予定。消防署に確認済み。

8. 代表者による全体の評価と見直しの結果

2020年度の活動報告を受け、昨年度よりエネルギー使用量・水使用量とも削減できており、省エネに対する意識・取り組みが定着しつつある。但し、電力使用量の管理に関しデマンド設定値の見直し（変更）が疎かになる等、決められた作業・ルールが守られていない部分も散見され、徹底に向けた改善を期待したい。

また、産業廃棄物排出量は昨年より増加しているが、これは、リサイクル業者の引取り基準変更で、従来リサイクルしていた不良品（廃プラ）が単純焼却となり、それにより排出量が増加した外的要因が大きい。

これに対しては、低コストで引き受けてもらえる代替業者の探索ということもあるが、そもそも不良品を如何に出さないかという根本的原因に手を打って欲しい。委員会活動の範囲を超える部分ではあるが、全社連携した改善活動に期待したい。

2021年度環境目標及び環境経営計画

2021年4月～2022年3月

No	環境経営計画	環境経営目標	単位	環境活動項目	責任部門 責任者	スケジュール 4月～3月
1	電力使用量の削減	電力使用量 全社 726,197 山形 718,524 本社 7,674	Kwh	自社、省エネルギー・ルールの遵守 成形機の効率的稼働 デマンド管理システムによる監視・低減 設備の見直し	製造T 国分	(左記達成手段全て)→
2	廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量 全社 18,591 山形 18,591 本社 0	Kg	廃棄物の分別・処理の徹底 紙類の再使用化及び排出低減 不良品低減による廃プラ排出削減	製造T 木村	(左記達成手段全て)→
3	水道使用量の削減	水使用量 全社 702 山形 666 本社 36	m ³	節水全般 設備の漏水点検 水道使用量の管理 設備の見直し	技術T 笹原	(左記達成手段全て)→
4	CO2排出量の削減	CO2排出量 全社 401,517 山形 380,800 本社 20,717	Kg-CO2	電気、廃棄物、水道の削減計画を確実に実行。 カリソ使用量の削減 エコドライブの推奨	製造業務T 佐藤(美紀)	(左記達成手段全て)→
5	生産性向上活動の推進	山形 98.8	%	ISO(QMS改善活動)客先クレーム件数削減活動実施	品質・検査T 浅沼	(左記達成手段全て)→
6	グリーン購入推進	山形 本社	—	事務用品、備品等CO2対象品を優先的に購入する。	経営管理部 佐藤(亜矢)	(左記達成手段全て)→